

学会だより

◇ 日本育種学会幹事選挙結果のご報告

幹事選挙によって、平成 26・27 年度の選出幹事が決定いたしました。

地区（幹事定数）：幹事氏名（敬称略）

- 北海道（4）：加藤清明・貴島祐治・佐藤裕・三浦秀穂
 東北（5）：石川隆二・北柴大泰・笹沼恒男・高畑義人・中村俊樹
 関東 1（7）：石本政男・江面浩・勝田真澄・半田裕一・矢野昌裕・山本俊哉・吉田均
 関東 2（3）：梅原三貴久・金子幸雄・三吉一光
 関東 3（5）：岩田洋佳・川上直人・二宮正士・矢野健太郎・吉田薫
 中部（5）：掛田克行・富田因則・中園幹生・松元哲・村井耕二
 近畿（4）：清水顕史・築山拓司・寺石政義・吉川貴徳
 中国・四国（3）：加藤謙司・草場信・佐藤和広
 九州・沖縄（4）：一谷勝之・甲斐浩臣・熊丸敏博・松田靖

◇ 日本育種学会会長・副会長選挙の結果のご報告

現幹事ならびに新しく選出された幹事による会長選挙、副会長選挙の結果をお知らせいたします。

会長選挙の最多得票者は吉村淳氏（九州大学）、副会長選挙の最多得票者は堤伸浩氏（東京大学）でした。両氏は共に、内規で定められる有効得票数の 1/3 以上の票を獲得されており、既にご本人による承諾も頂いておりますので、両氏が次期会長および次期副会長に決定いたしました。

◇ 地域談話会だより

〈北海道地区〉

2013 年 12 月 7 日（土）に酪農学園大学（江別市）にて、日本育種学会・作物学会北海道談話会のシンポジウム、年次講演会ならびに総会を開催した。

◎平成 25 年度シンポジウム「北海道におけるパン用コムギの品種開発、栽培、利用」

演題（4 演題）：北海道のパン用コムギの現況。山内宏昭（帯広畜産大学）／品種開発。田引正（農研機構北海道農業研究センター）／栽培。佐藤三佳子（道総研北見農業試験場）／利用、販売。佐久間良博（江別製粉株式会社）

◎平成 25 年度一般講演

演題（53 演題）：水稻の生育収量に及ぼす窒素肥料混和時期の影響○橋立久幸・五十嵐翔梧・佐藤隼人・小林直矢・岡田佳菜子（拓大道短）／簡易もちつき機などを利用した水稻の初期世代におけるもち硬化性の効率的な選

抜○佐藤博一¹・前川利彦¹・粕谷雅志²・佐藤毅¹・平山裕治¹（1. 上川農試, 2. 北見農試）／北海道の酒造好適米と府県米の醸造適性の比較 第 2 報 各品種における産地間変異○田中一生¹・岩間和人²（1. 道総研・農研本部, 2. 北大農）／「ゆきひかり」から「上育 462 号」までのイネの良食味品種のハプロタイプ解析○高野翔¹・佐藤毅²・加藤清明¹（1. 帯畜大, 2. 上川農試）／イネの少分げつ遺伝子 *rcn4* の単離と発現解析○北沢英之¹・高野翔¹・松田修一¹・高牟礼逸朗²・加藤清明¹（1. 帯畜大, 2. 北大農）／イネの ABC トランスポーター RCN1 を介した幼苗生長の制御○松田修一¹・長澤秀高¹・佐藤裕²・得字圭彦¹・高牟礼逸朗³・加藤清明¹（1. 帯畜大, 2. 北農研, 3. 北大農）／イネの ABC トランスポーター OsABCG27 の発現解析と組織局在○長澤秀高・松田修一・加藤清明（帯畜大）／イネ zinc finger protein 遺伝子の置換が原因の奇形小穂 *mls3(t)* 変異体○中田章子・大島健人・袋井康輔・小谷まり・貴島祐治・高牟禮逸朗（北大農）／日本稲とグラベリマ種間の F1 個体における葍培養由来カルス形成○國吉大地¹・岩城玲香¹・岡本吉弘²・貴島祐治¹（1. 北大農, 2. 酪農大）／イネにおける表現型可塑性の進化—人為選択対自然選択○伊藤勇樹（酪農大）／北海道におけるゼンテイカの葉緑体ゲノムの遺伝的多様性○石田光・我妻尚広・岡本吉弘（酪農大）／植物の内生ペプチドエリシターによる耐塩性付与○道満剛平¹・渡部敏裕¹・藤野介延¹・山口タ^{1,2}（1. 北大農, 2. 大阪府大生命環境）／トランスポゾン Tam3 の転移を抑制するキンギョソウ遺伝子 *T3IF5* および *T3IF6* の発現解析○中山優也・貴島裕治（北大農）／ギョウジャニンニクの育種（予報）○田丸典彦（釧路野外教育研究会）／縞萎縮病の発病程度が秋播小麦収量へ与える影響○久保勝照・斉藤浩・高松砂織（石狩農業改良普及セ）／秋まきコムギの分げつ出現時期が有効茎歩合に及ぼす影響○荒木英晴（網走農業改良普及セ）／コムギの種子根伸長角度の遺伝変異○岩佐翔¹・森正彦¹・安倍史高²・小柳敦史³・川口健太郎⁴・三浦秀穂¹（1. 帯畜大, 2. 作物研, 3. 九農研, 4 北農研）／緩効性肥料ハイパー CDU プラス（試作品）の春まきコムギ「はるきりり」への基肥施肥がコムギの収量と品質に及ぼす影響（予報）○淵上倫行¹・牛木純²・栗原一博³・義平大樹¹（1. 酪農大, 2. 北農研, 3. ジェイカムアグリ）／ヘアリーベッチ栽培による初冬播き春コムギの出芽特性への影響○瓜本明日香・平田聡之・星野洋一郎（北大 FSC）／スペルタコムギとパンコムギにおける根毛関連形質の遺伝変異○門田あゆみ・山下紗於里・三浦秀穂・大西一光（帯畜大）／コムギにおける不良土壌適応性の遺伝変異：アルミニウム耐性について○池松沙紀・越中弥友・三浦秀穂・大西一光（帯畜大）／ゼンコウジコムギ× Chinese Spring 交雑集団

における種子形態の QTL 分析○平一真・曹良子・徳井真由美・大西一光・三浦秀穂(帯畜大) / Biomass production and competitive ability of three switchgrass (*Panicum virgatum* L.) cultivars and alfalfa (*Medicago sativa* L.) in mixed planting ○ An Y, Ma Y and Shui J(中国西北農林科技大) / サイレージ用トウモロコシに対する千鳥播栽培が収量に及ぼす影響—振幅距離が増収効果に及ぼす影響—○吉田将大・義平大樹・小阪進一(酪農大) / サイレージ用トウモロコシに対する千鳥播栽培が収量に及ぼす影響—千歳市における実規模試験—○義平大樹¹・安田貴大¹・小阪進一¹・大塚博志²・高陽憲基³(1. 酪農大, 2. ホクレン, 3. 千歳地域メノナイトディリーファーム) / 飼料用トウモロコシにおける低温処理が雄穂小穂数および花粉生産量に及ぼす影響○林拓¹・牧野司¹・中村直樹¹・岩間和人²(1. 根釧農試, 2. 北大農) / 北海道中央部でのオオムギ若葉栽培における若葉生産量および種子生産からみた適性品種の選定—低温要求性の異なる品種間比較—○鈴木章馬・義平大樹・小阪進一(酪農大) / ライコムギにおけるひこ生えを利用した二期作栽培の可能性○宮崎健亮・秋本正博(帯畜大) / 開花期高度耐冷性アズキ遺伝資源 Acc2265 に由来する小粒遺伝子のマッピング○山本博規¹・堀内優貴²・小倉玲奈³・下田直美¹・佐藤仁²・加藤清明¹(1. 帯畜大, 2. 十勝農試, 3. 中央農試) / 半無限および長花梗の性質を有した主茎型ダイズ系統における適正栽植密度の検討○北島拓也¹・義平大樹¹・小阪進一¹・山口直矢²(1. 酪農大, 2. 十勝農試) / ダイズ品種の分枝可塑性の評価法—年次間差異を含めた検討—○阿古達木¹・義平大樹¹・小阪進一¹・白岩立彦²(1. 酪農大, 2. 京大農) / ダイズ品種の分枝可塑性の評価法—簡易評価法の検討—○尾崎徳宏¹・阿古達木¹・義平大樹¹・小阪進一¹・白岩立彦²(1. 酪農大, 2. 京大農) / ダイズの発芽時冠水耐性における種皮アリュールン層の役割○佐藤圭・張聖珍・佐藤雅子・山田哲也・実山豊・阿部純(北大農) / ダイズ遺伝資源における窒素含量と種子成分との関連性○田辺大悟¹・平田聡之²・安江一穂¹・丸山伸之³・阿部純¹・山田哲也¹(1. 北大農, 2. 北大 FSC, 3. 京大農) / ユキホマレ低温裂開粒における種皮の組織化学的解析○平岡未帆¹・川戸歩美¹・山口直矢²・川崎通夫¹・千田峰生¹(1. 弘大農, 2. 十勝農試) / 北海道ダイズ育成系統における成熟期を考慮した収量性評価○小林聡・山口直矢・品田博史・三好智明(十勝農試) / テンサイの貯蔵性に関する予備検討○高橋宙之・田口和憲・岡崎和之・黒田洋輔(北農研) / テンサイの低温による花成関連遺伝子発現量の変化○黒田洋輔・田口和憲・岡崎和之・高橋宙之(北農研) / テンサイの高ヘテロ集団に対する循環選抜○田口和憲・黒田洋輔・岡崎和之・高橋宙之(北農研) / 播種時期の違いが食用ヒマワリの収量・開花期等に及ぼす影響○川田紘嗣・東田修司(拓大道短) / 有機質資材に含まれるリン酸の肥効○伊東太一・東田修司(拓大道短) / 牧草

の生育に及ぼすコメ由来バイオエタノール蒸留廃液の影響○佐々木大・林恰史・奥村健治(北農研) / バレイシヨの根通導コンダクタンスに影響する根系形質の解析○谷川潤¹・小林司¹・萩原雄真¹・出口哲久¹・市川伸次²・岩間和人¹(1. 北大農, 2. 北大 FSC) / バレイシヨ根系の品種間差異が土壌深層からの水分吸収におよぼす影響○出口哲久¹・伊藤瑛悟¹・納谷拓実¹・古川恵¹・松本学¹・市川伸次²・河合孝雄²・岩間和人¹(1. 北大農, 2. 北大 FSC) / 作土層におけるバレイシヨ根系の水分吸収パターン○萩原雄真¹・小林司¹・谷川潤¹・出口哲久¹・市川伸次²・岩間和人¹(1. 北大農, 2. 北大 FSC) / 2 倍体バレイシヨ集団における乾燥抵抗性の年次間差異○高橋陽平¹・新谷浩樹¹・西浦珠央¹・市川伸次²・岩間和人¹(1. 北大農, 2. 北大 FSC) / 種イモの齢および植え付け時期がバレイシヨ品種の根および塊茎の生長に及ぼす影響○小林司¹・谷川潤¹・萩原雄真¹・出口哲久¹・市川伸次²・岩間和人¹(1. 北大農, 2. 北大 FSC) / 2005 年から 2011 年における早期培土がジャガイモ収量に及ぼす効果の年次変異○岡田昌宏¹・森元幸²・津田昌吾²・三浦秀穂¹(1. 帯畜大, 2. 北農研) / 曝光によるジャガイモ塊茎表面でのアントシアニン蓄積○松田俊哉¹・尾崎英樹¹・田宮誠司²・石黒浩二²・浅野賢治²・森元幸²・三浦秀穂¹(1. 帯畜大, 2. 北農研) / でん粉原料用バレイシヨ「コナユキ」のくずいも数に及ぼす催芽日数の影響○中山輝・大波正寿(北見農試) / ポテトチップ用バレイシヨ新品種「北育 15 号」における施肥量・栽植密度反応の地域間差異 木口忠彦¹・相馬ちひろ¹・藤田涼平²・中山輝²(1. 中央農試, 2. 北見農試) / 養液栽培で生産したバレイシヨ・ミニチューバーの生育と収量○不破秀明¹・郷家一広¹・岩間和人²(1. 種苗管理セ・北海道中央農場後志分場, 2. 北大農) バレイシヨの細胞質遺伝子型の違いが高温年の収量に及ぼす影響○津田昌吾・田宮誠司・西中未央・浅野賢治・向島信洋(北農研) / The general situation of potato in Yunnan ○ Yang H, Zhang X, Xiao J, Li G, Bai L, Chen M, Li C and Guo H(中国雲南農業大学) / 農業における圃場実験の統合解析に関する研究第 1 報 2 段階分割法実験の統合解析法について○鷹田秀一^{1,2}・岩間和人²(1. 北海道地域農業研究所, 2. 北大農)

〈近畿地区〉

近畿作物・育種研究会 第 176 回例会

2013 年 12 月 14 日(土)の午後、第 176 回例会を大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学術交流会館で開催しました。本例会は「地球変動とこれからの農業」と題した公開シンポジウムとして行いました。55 名の参加者があり、6 課題の講演と総合討論がありました。その後、懇親会も同キャンパスで開催されました。

講演

1. 気候変動や人間活動が水文・水環境に及ぼす影響：手取川流域およびメコンデルタを対象として

藤原洋一（石川県立大学）

2. 環境変動が国内の農業生産に及ぼす影響とその対策
中川博視（中央農業総合研究センター）

3. 半乾燥地における洪水と干ばつの頻発とそれらへの対応農法の検討

飯嶋盛雄（近畿大学・JST/JICA, SATREPS）

4. 酒米の高温障害を軽減する栽培支援システムの開発
池上勝・加藤雅宣（兵庫県立農林水産技術総合センター）

5. 遠縁種を利用した不良環境に強いイネの育種—
NERICA の解析を例として

小出陽平（京都大学）

6. メタン発酵による資源循環—発酵残渣液の植物生産への利用

遠藤良輔（大阪府立大学）

7. 総合討論

座長：白岩立彦（京都大学）

〈四国地区〉

四国談話会

2013年11月28, 29日に育種学会四国談話会講演会（第78回）および公開シンポジウム（作物学会四国支部と共催）を近畿中国四国農業研究センター四国研究センターにおいて開催した。それぞれの参加人数は20名、86名であり、プログラムは下記の通りである。

◎公開シンポジウム（2013年11月28日（木）13:00～16:00）

テーマ：「近畿中国四国農業研究センター四国研究センターにおける研究、技術開発の現状と今後の展望」

①「ハルヒメボシ」の育成と新規需要拡大のための大麦育種：大麦育種研究グループ 吉岡藤治

②「はつさやか」, 「あきまろ」の育成と有望大豆系統の紹介：大豆育種研究グループ 猿田正恭

③農産物・農産加工物の成分・物性研究の現場から：食品機能性研究グループ 川瀬眞市朗

④中山間地向け施設の開発と展開方向：傾斜地野菜生産研究グループ 長崎裕司

⑤カンキツ新品種の導入とブランド確立のためのマルドリ方式の高度利用：カンキツ生産研究グループ 根角博久

⑥総合討論：近畿中国四国農業研究センター傾斜地園芸研究領域長 田坂幸平

◎第78回日本育種学会四国談話会講演会（2013年11月29日（金）9:30～12:30）

1. イネのテロメア長に及ぼす脱分化と再分化の影響

○池田滋（香川大遺伝子実験施設）

2. シコクカッコソウ4倍体の花器形質

○山岡真梨子・中尾綾香・片岡圭子・大橋広明（愛媛大農）

3. シコクカッコソウの花茎培養における不定芽分化に及ぼす個体間差および花茎発達程度の影響

○重松祐美子・片岡圭子・大橋広明（愛媛大農）

4. プリムラ・ポリアンタの花茎伸長誘導処理による花茎頂培養法の検討

○松本雄太郎・片岡圭子・大橋広明（愛媛大農）

5. *Pelargonium oblongatum* の葉片培養による植物体再生—特に、発根培地の検討

○藪野航大・本藤加奈・柿原文香（愛媛大農）

6. *Pelargonium fulgidum* と *P. oblongatum* との種間雑種作出と F₁ 個体の諸形質

○朝倉健太・本藤加奈・柿原文香（愛媛大農）

7. 画像処理を用いたイネ葉形質の特徴抽出

○杉田（小西）左江子¹・西原知里¹・千崎雄佑¹・松島淳¹・桧垣匠²・朽名夏磨²（1. 香川大院・農, 2. 東大院・新領域）

8. 稲の感光性に関する晩生遺伝子が収量および関連形質に及ぼす作用

○中澤春貴¹・堀俊介¹・A. Dahal²・赤岡武¹・村井正之¹（1. 高知大学農学部, 2. 愛媛大学大学院連合農学研究科）

9. Effect of a lateness gene and genetic backgrounds on dry matter production in *indica* rice.

○Dahal A.¹, S. Hori², H. Nakazawa², T. Akaoka², T. Kawano², M. Murai²（1. United Graduate School of Agriculture Sciences, Ehime University, 2. Faculty of Agriculture, Kochi University）

10. 中央アジアにおける麦類遺伝資源の収集

○佐藤和広（岡山大植物研）

研究助成公募の案内

◇ バイオインダストリー協会から研究奨励賞候補者募集のお知らせ

（一財）バイオインダストリー協会では毎年、バイオインダストリー協会賞、発酵と代謝研究奨励賞、化学・生物素材研究開発奨励賞の候補者を募集して、顕著な業績を顕彰し、また有望な研究者に対し研究奨励金の交付を行っています。いずれも応募締切は**2014年5月7日（水）**です。

バイオインダストリー協会のホームページ（<http://www.jba.or.jp/>）に募集要項を掲載していますので、ご参照下さい。

◇ キヤノン財団研究助成プログラム「理想の追求」研究助成募集のお知らせ

キヤノン財団は人類社会の持続的な繁栄と人類の幸福への貢献を目的に、2つの科学研究助成プログラムを行っています。そのひとつの「理想の追求」は「Frontier, Welfare, Sustainability」の視点から当財団が毎年研究課題を提示します。理想の追求の2014年からの研究課題は、「食」に関する研究に決まりました。

「食」を総合サイエンスと捉え、グローバルな視点から課題に取り組む研究プロジェクトを募集します。日本の

誇る科学技術と人材を活用して、理想の追求にふさわしい「食」の課題に取り組んでください。

募集期間 2014年6月2日10時～2014年7月15日15時

募集案内 PDF キヤノン財団ホームページ：<http://www.canon-foundation.jp>

日本育種学会会員異動（2013.10.21～2014.1.20）

◇ 普通会員入会：荒木宏通，提箸祥幸，須田成志，高野翔（北海道），BIDADI HANIYEH（岩手），岩井孝尚（宮城），島村聡（秋田），阿部洋平（山形），井関洸太郎，稲垣言要（茨城），三ッ橋昇平（栃木），鐘ヶ江弘美（東京），宮崎さおり（静岡），杉山愛子（京都），遠田智江，津田勝利（兵庫），伏水邦彦（熊本）

◇ 学生会員入会：尾崎英樹，鈴木伶実，長澤秀高，藤戸聡史（北海道），平岡未帆，村山聡美（青森），大嶋涼達（宮城），中村咲耶（秋田），奥野堇，勝山弘章，駒場麻有佳，鈴木智久，橋本沙也加，MATRA DEDEN DERAJAT，

三上雅史，RODRIGUEZ TITO（茨城），石井裕也，入江明，入江佳，小倉那海，郭威，小林正和，林辰星（東京），梶田夕貴，神谷浩美（神奈川），山影祐也（福井），山口未来（愛知），井上千鶴，合田喬，高松清史，HTUN THAN MYINT，西嶋遼，西村彬則，前田道弘（兵庫），原拓也（岡山），井上良平（広島），MAI TAN VAN（福岡）

住所変更等

◇ 普通会員：西村努，萩原誠司（北海道），神田英司，熊谷亨，藤田雅也（茨城），小川洋一（千葉），佐々木和浩（東京），宅野将平（神奈川），加藤晴菜（福井），小出陽平（京都），森中洋一（大阪），田中義行（岡山），藤田大輔（福岡），松本雄一（佐賀），今山輝之（熊本）

◇ 学生会員：高橋有（茨城）

◇ 逝去

六笠裕治氏（北海道）

慎んでご冥福をお祈りいたします。